



第 59 号
平成 20 年
10 月発行

ボランティア活動を目指す方々に

社会福祉法人りんさく福祉会

理事長 須田 渥

この「望洋荘便り」七号（平成十六年）の巻頭言にて地域の皆様に施設でのボランティア活動をお願いしてから五年近くなろうとしています。多くの方々のご支援をいただきありがたく心から感謝を申し上げます。またこれからボランティア活動を目指そうとしていらっしゃる方々に、心からのエールを送ります。それは私たち職員が、当望洋荘のケアの現場で利用者の幸せを願い、祈り、仕事に取り組む大きなエネルギーを皆様からいただけるからです。

利用者のお年寄りもボランティアの方々、明るく、優しい目的意識をもった活動的な姿を見ると心穏やかになり、生きるエネルギーをいただけると話されています。私たちも皆さんに接して感じる事、それは、この仕事を始めると思ったとき、また仕事に就いたときの自分に戻る気持ちがあるからです。「初心」を思い出すのです。そして誠実な皆さんの働きから私たちへの応援の心を感じるのです。また仕事の迷いを吹っ切る力をもいただけるのです。

お年寄りは自分たちを大切に思ってくれる人の心を感じるのです。自分たちの若い日を思い出させてもらえるのです。自分の歩んだ道、それを皆さんの活動を通して満足や悔い、良いも悪いも皆さんの生き方を感じながら自分の人生を思い出すことが出来るのです。人生のプレイバックが今を生きるエネルギーでもあり、希望の源に繋が

っているのです。

どうか皆さんもボランティア活動を通して人生の仲間を見つけて下さい、それは共に活動をする人であったり、そこに働く人であるかもしれませぬ。ボランティア活動は出会いでもあると思います。そして仲間という人生の財産づくりでもあります。私も皆さんの仲間となつて生きるエネルギーをいただきたいと思います。

*ボランティアの語源

ラテン語でボランティアという言葉から始まったとされています。英語ではボランティアで、志願者、志願兵という意味です。一六四七年にイギリスの自警団が結成され、これが始まりとされています。その後、フランス革命やアメリカの南北戦争などに参加した志願兵をボランティアといいました。自発的に無償で参加したことから、このような行為をボランティアというようになりました。日本では昔から助け合いは地域にありましたが、ボランティア活動としては、戦前のセシルメントが戦後一九六〇年代からボランティア・社会奉仕・あるいは善意銀行などとして、取り込まれるようになりました。



「生きる」二宮 豊 氏作
池上染子様より、平成 11 年 6 月に
理事長へ贈呈下さった作品です。生きて
いることの力強さと優しさが伝わ
ってきます。

「買い物ツアー」四倉ユニット

一〇月二〇日（月）午後二時十五分より、勿来ユニットの入居者様五名と「買い物ツアー」スパークセンター大原に行つて来ました。当日はお天気にも恵まれ、絶好のお出掛け日和となりました。またご家族様も参加され一緒にショッピングやティータイムを過ごされました。入居者様から「私、こんな買い物初めてだわ」、「美味しかったわ」、「また来たいね」などと喜びの声が多く聞かれました。

「ハワイアンズ」豊間ユニット

一〇月二七日（月）午後十二時三〇分より豊間ユニットの入居者様六名と「スパリゾートハワイアンズ」にフラダンス見学に行つて来ました。

フラダンスショーでは、最前列に車椅子専用の観客席が設けられており、間近で迫力のあるダンスを見学する事ができました。皆様、大満足のご様子でした。ショーの後は、お土産屋さんを覗いたり、アイスクリームを食べたりとそれぞれ楽しめました。

「チューリップ球根植え」

一〇月三十一日（金）入居者の皆様と「チューリップの球根」を花壇に植えました。球根は、今春綺麗に花を咲かせたチューリップの球根を掘り起こし、乾燥させて保管していた物です。来春また綺麗な花を咲かせてみんなを楽しませてくださいと願いながら、ひとつひとつ丁寧に植えていきました。これからもずっと次の世代に繋げながら、望洋荘の歴史と共に毎年花を咲かせてくれたら嬉しいですね。



『投稿作品』の紹介 ③

先月号に続き、渡辺芳重さん著書「遠い記憶…愛しの孫たちへ」を紹介させていただきます。

遠い記憶 (その3)

…愛しの孫たちへ…

渡辺 芳重 著

ラバウル

港を囲む丘の段々には赤や青い屋根が点在し椰子の木が繁り、赤や黄色の草花が咲き乱れ天国のようだ。長い船旅の疲れを癒すため二、三日休養した。ガダルカナル島の戦況は不利の模様で、自分達補充隊員の本隊追及輸送は、不可能だ。全員ココボ地区で飛行場建設の使役に従事した。飛行場は緊急避難程度の規模で、海岸の平坦なジャングルを切り開き、地均しするだけ。だが、全てスコップと鶴嘴だけの手作業である。四月一日付けで、上等兵に進級した。四月十六日、島を出航した。残留部隊も基地も撤収し、フィリピンに向かう。

フィリピン

五月九日マニラ港に入る。マニラから奥地のゴンザレス地区に移動する。我が二十九聯隊はガダルカナル島では軍旗を焚いた程の損害を受けたので、経理部員も多く戦死した。私は其の後に補充された。

主に聯隊二五〇〇名の被服装具類の充足を担当した。休養も装備も訓練も充分に出来たので十一月五日、マニラ港を出航してシンガポールに向かう。目的地はビルマだ。

シンガポール

ビルマ戦に必要な装備の確保につとめた。最近の戦況は思わしくない。兵員や装備など内地からの補充充足は困難を極めるようになった。野菜、魚介、肉類、果物等は現地で自から調達しなければならぬ。日本政府が発行する軍票を使って毎日買入れをする。これが経理部員の重要任務だ。言葉も通じない。通訳も居ない現地での物資の買入れは容易でない。片言の英語・現地語・身振り・手振り・物真似など苦労の連続だ。

ビルマ

六月一日付で主計伍長に任官し師団司令部付きの通信隊に転属が発令になった。八月二十四日ネーパンを出発し中国国境を越えて雲南省龍陵県芒市に着く。芒市から近い処に怒江が流れており、これに架かる鉄橋を爆破し道路を遮断するのが作戦の目的である。敵味方の大砲迫撃砲の音は、山々に木霊して雷が鳴っているようだ。そんな日が一週間程続いたとき、先頭の部隊が怒江の鉄橋を爆破した知らせがあった。戦闘終了。二月十二日此処を出発し、泰緬鉄道を通じてカンボジアに向う。

カンボジア

三月四日カンボジアのプノンペンに着く。三月十日、午前〇時日本政府からの暗号電報を合図にフランス陸軍を一斉攻撃し、翌朝までに完全に武装解除した。五月十日、プノンペンを汽車で出発しその日の内にサイゴン駅に着く。八月一日付けで主計軍曹に昇進した。

終戦

師団通信隊では敗戦の気配を傍受した通信などで感じ取って居たので其れ程慌てなかった。師団司令部で玉音放送を聞いた。四月二十日頃帰国命令が出る。四月二十四日サイゴン郊外のサンジャックを出港して五月十三日鹿児島港着。復員完了。満期除隊。帰途に就く。

愛しの孫たちへ

お祖父さんの青春はこの様に学業も中途半端にして誰の為、何の益にもならない戦争で過ごしてしまった。でも私は人を一人も殺していないし、悪い事と卑怯未練な振舞いは何もししていない。そのことは神に誓える。

私を神様や仏様が護ってくれたのか、何時も運が良く危機を逃れた。特に経理部に配属されたから生きて帰れたのだ。一緒に入営した機関銃中隊の同年兵戦友六十名は、四人しか生還しなかった。だからこんな悲惨な戦争の歴史は貴女達も、又その子供達の世代でも絶対に繰り返さないでください。

「望洋荘家族会からの要望書」
に対する施設内改善報告 ⑤

前月号に引続き、要望書の内容による改善方法を、皆様へ報告させて頂きます。

⑦ 施設職員よりご家族及び入居者に対し、してほしい事について

要望25、普段の生活時間を工夫してもらいたい。

【改善内容及び回答】

同時に、日課としておしぼり・洗濯たたみ、折り紙作り、畑仕事や花壇作り等もお手伝い頂きたいです。

要望27、外出や外泊時に薬を渡されるが、増えていたりすると分からない為、説明がほしい。

【改善内容及び回答】

大変申し訳御座いませんでした。施設側としては、外出・外泊が事前（二〜三日前頃まで）に把握させて頂ける場合には、医務側よりご説明させて頂いておりますが、そのご連絡が曖昧になっておりました。但し、外出・外泊のご連絡が当日の場合、医務側の業務予定等もあり、説明する時間が取れない場合もありますので、出来るだけお早めにご連絡ください。

⑧ 施設サービス計画について

要望28、入所者も参加出来れば良い。

【改善内容及び回答】

定期的（三ヶ月に一回）入居者様の現状の状況の変化など各専門職間で話し合える時間を作っています入居者様も含め各専門職を話し合えればいいのですが、気にしてしまいう方や過剰に心配されてしまう方います。施設の対応としては会議などの参加ではなく、入居者様が生活する上での心配事や困っていることを職員が聞き、その内容を会議に伝えるような形を行っています。

要望29、二回に一回程度プランの内容を見せて欲しい。

【改善内容及び回答】

大変失礼いたしました。施設サービス計画（変更）作成時、利用者様から要望等を聞きとり作成し、直接、利用者様に説明して同意（署名・捺印）を頂く事があります。今後は、利用者様の同意頂くと共に、ご家族様へも計画内容の説明を行っていききたいと思っております。

⑨ 望洋荘行事計画及び各ユニット毎の行事について

要望30、交通手段が少なくて行きづらい。

【改善内容及び回答】

誠に申し訳ありません。施設の行事等の場合、買出し等で都合が合えばご協力出来る事もありますのでその時はご相談下さい。

十一月の行事予定

十一月十八日（火）永崎ユニット
「ハワイアンズ見学」午後十二時三十分〜
十一月二十二日（土）施設合同
「居酒屋」午後五時三十分〜
十一月二十七日（木）勿来ユニット
「ハワイアンズ見学」午前九時〜

【十一月のお誕生会予定】

十一月五日（水） 薄磯 十文字 芳子様 （九六歳）誕生会	十一月八日（土） 永崎 根本 喜美様 （八七歳）誕生会	十一月十日（月） 薄磯 鈴木 フミ様 （八七歳）誕生会	十一月十八日（火） 四倉 松本 アキ子様 （八八歳）誕生会	十一月二十日（木） 四倉 箱崎 清様 （七六歳）誕生会	十一月二十四（月） 豊間 本導 マサヨ様 （百一歳）誕生会	十一月二十四（月） 四倉 佐藤 栄子様 （八三歳）誕生会	十一月二十五日（火） 永崎 星野 之一様 （七五歳）誕生会	十一月二十七日（木） 薄磯 大平 ふみ子様 （九四歳）誕生会
------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	--------------------------------------

編集後記

『望洋荘』便り
平成二十年十月三十一日発行
発行所 いわき市 平豊間字合磯三十九番地

社会福祉法人 りんさく福祉会

介護老人福祉施設 望洋荘

電話 (0246) 55-7373
FAX (0246) 55-7255